



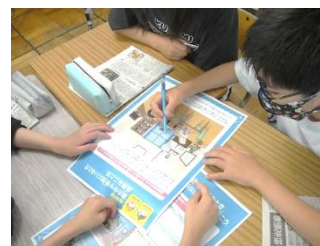
コード（分野）	24702（1. 防災・安全）
メニュー名	防災セミナー
校園名(学年)	草津市立笠縫東小学校 6年3組28名
講師・支援者等	三井住友海上火災保険株式会社
学 習 名	防災について考える
教 科 等	総合的な学習の時間
実 施 日	令和7年7月9日（水） 8:45～9:30

《授業の流れ》

テーマ「スクールE S Dくさつプロジェクト」～防災～

〔6年3組教室〕

1 三井住友海上火災保険株式会社を知っている？
突然の危険に対する損害保険に対応している



2 プレゼンテーション・グループワーク

(1)滋賀県の地形と地震

(2)危険な箇所について考える

（室内・室外）ワークシート…発表・確認

(3)災害豆知識

- ・ 外は電柱が危険…東京ディズニーランドは地中に電柱
- ・ 災害伝言ダイヤル171を覚えよう

(4)室内で起こる火事の意外な原因

- ・ 埃のかかったコンセント



3 防災グッズあれこれ

水、非常食（賞味期限の長いもの）…1人最低3食分

ランタン付きラジオ、アルミブランケット（体の保温）、ペーパー歯磨き
モリアンヒートバッグ（簡易コンロの役目）、軍手、マスクなど

4 防災グッズを作ろう

(1)ナイロン袋（大）からレインコート

(2)新聞紙から紙皿（時間の関係で作れず）



<感想等>

児 童

- ・「家の中で安全な場所はいくつかあって、その中の一つがトイレです。」と教えてもらって驚きました。いざ地震があった時は、そこに避難しようと思いました。
- ・私の家では災害バッグを準備していなかったのですが、今日のお話を聞いて準備しようと思いました。災害があった時には、レインコートを作って過ごしたいと思いました。
- ・コンセントのほこりだけでなく、束ねていても火事になることを知り、驚きました。家に帰って整理整頓をしようと思いました。
- ・地震で窓ガラスが割れることを初めて知ったので、これからは地震が起こったらすぐにカーテンを閉めて、破片が飛び散らないようにしたいと思いました。

学 校(担任の先生等)

- ・南海トラフが起こった際に予測される被害を解説していただいたり、防災バッグの中身を見せていただいたりと、子どもたちも視覚的に分かりやすく、防災について学ぶことができました。また、身近にあるもので災害時に役立つグッズ(レインコート)の作り方を教えていただき、物が不足した時やライフラインが止まったときなど、いざという時に身を守るための方法を考えることができました。

講 師 ・ 取材者

<講師>

- ・本セミナーを行うにあたり貴重なお時間を頂きありがとうございました。想像以上に、児童の皆さまからの反応があり、非常に嬉しかったです。私自身も滋賀県出身で、全国の中でも比較的災害が少ない県だと思い学生時代をすごしてきました。一方で、災害は遠いどこかのここのようにも感じていたと思います。しかし、南海トラフを含め、滋賀には災害リスクが潜んでいます。「いざ」の時に今回の知識や経験が少しでもお役に立てれば、と思っております。

- ・弊社の防災教育に貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。
児童の皆さんが工作の時間はもちろん、講義を聞く時やグループワークに取り組んでいただく時などどの瞬間を切り取っても防災を自分事として捉え、熱心に向き合っている姿勢を拝見し大変嬉しく感じました。今までの防災教育で培ってきた知識を使いつつ、グループワークの時間では大人では想像もつかないような柔軟な考え方をしており、またそれをクラスで共有して全体の知識向上を図る場面も多くみられ、私自身も大変刺激を受けることができました。
時間の関係でなかなか最後の紙皿作成までたどり着けなかったことが大きな反省点ですので、そちらを修正しつつ今後も地域の防災教育活動に少しでも貢献できるよう努めて参りたいと思います。

<取材者>

- ・児童全員の「防災」に関する関心が高く、様々な問いかけに積極的に思考を巡らせ、発表していた。
- ・室内や室外の危険な箇所を見つけるグループワークでは、誰もが様々な意見を出し合い、認め合う姿が見られた。災害時には大変重要なポイントである。また、意外な危険個所に気づく児童もいて、互いに喜びを分かち合っている姿がほほえましかった。
- ・今回の「防災セミナー」で、講師の方が、ところどころで絶妙に防災豆知識を投げかけておられたので、子どもたちの心に響いていた。正解よりも納得の出前授業であったように思う。
- ・6年生の子どもたちにとって、わかりやすく進んで取り組める「防災」授業であったと感じた。



